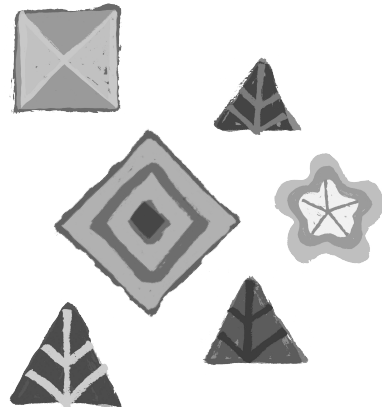


多摩川バイオリージョンにおける エコミュージアムの展開を考える

東京学芸大学は、平成17年から「持続可能な社会づくりのための環境学習活動—多摩川バイオリージョンにおけるエコミュージアムの展開—」をテーマに教育プロジェクトを展開します。これは文部科学省現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択されたものです。

「多摩川エコモーション」と名付けたこのプロジェクトでは、東京の様々な地域で学芸大学の学生が地域の人たちと協力しながら、授業を通じて地域課題の学習活動を行います。環境保全・持続的な社会づくり、そして地域活性化に貢献するのがこの教育プロジェクトのねらいです。今回の講演会はその一環として行われるものです。大学の学生・教職員のみならず、地域の方々の参加を期待しています。



プログラム

03—1月14日[土]

- 13:00 ——— 講演「海外のエコミュージアムの事例から考える」
大原 一興(横浜国立大学大学院 工学研究院 システムの創生部門・教授)
- 14:30 ——— 講演「日本のエコミュージアムの事例と展開課題」
井原 満明(株式会社 地域計画研究所・代表取締役)
- 16:00 ——— パネルディスカッション
「多摩川バイオリージョンにおけるエコミュージアムの展開」
パネリスト……大原 一興、井原 満明
- 18:00 ——— 交流会(～19:00)
場所:環境教育実践施設多目的室/参加費:1,000円(飲み物・軽食付)

用語説明

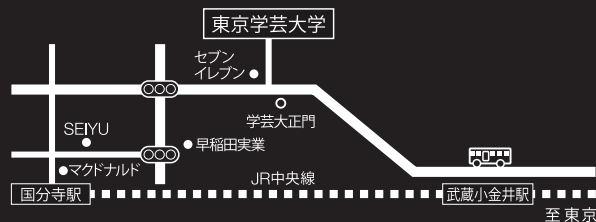
バイオリージョン

自然によって設定されたおおよその境界で区切られた地理的領域で、植物相・動物相・水系・風土・地質・土地形態ならびにこれら自然の特性のゆえに成立した地域社会と文化などの特長によって区別される地域。(「環境の豊かさを求めて」(鬼頭秀一編、昭和堂)に分担執筆した井上有一氏の論説を参考にした。)

エコミュージアム

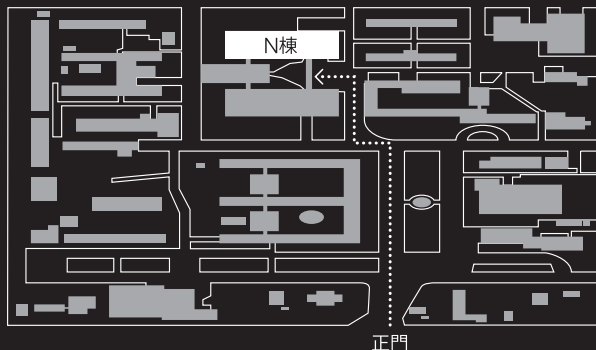
地域の自然や伝統文化、およびそれを支えている人材を繋ぎながら、それらを「地域全体の博物館」と位置付け、環境保全と地域活性化のために役立てようとする活動。
地域の人々が身近な自然、文化、環境の探索学習活動を通じて、それら価値を認識し、自然、文化、環境の再生・創造活動を展開しながら現実世界の地域を野外博物館として位置付ける運動。また、地域の人々が主体的にその運営に関わるという特徴がある。

●東京学芸大学までのアクセス



1. JR中央線「武蔵小金井駅」下車北口改札前より京王バス「小平団地行き」学芸大正門下車
2. JR中央線「国分寺駅」下車北口より徒歩約15分

●構内地図



申し込み用紙 締切日1月12日(木)

参加をご希望の項目に○を記入の上、本紙をそのままご送信ください。

FAX : 042-329-7669

講演会	交流会	お名前	所属	ご連絡先(電話番号またはE-mail)

Eメールでのお申し込みも受け付けております。上記の内容をご記入のうえ、imupho@u-gakugei.ac.jp (担当:井村) 宛にご送信ください。

【お問合せ】 東京学芸大学 環境教育実践施設

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1
TEL.042-329-7862 / 7861 FAX.042-329-7669 E-mail.imupho@u-gakugei.ac.jp (井村)
<http://www.u-gakugei.ac.jp/topics/gp>

